

令和7年度 第9回北区自治協議会 議事概要

日 時 令和8年3月26日(木) 午後1時30分～午後2時30分

会 場 豊栄地区公民館 大講堂

出席者

菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小熊委員、飛鳥井委員、橋本委員、倉島委員、恩田委員、草間委員、佐久間委員、佐藤(茂)委員、小田委員、近藤委員、小林(湧)委員、野口委員、遠藤委員、日下委員、大島委員、桜井委員

計19人

(欠席:佐藤(康)委員、マルシェフ委員、渡邊(恵)委員、渡邊(悠)委員、馬委員、小柳委員、高橋委員、小林(幸)委員、藤田委員)

事務局等

〔北区役所関係〕

副区長兼地域総務課長(以下「副区長」)、区民生活課長補佐、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北区教育支援センター長、北消防署長、農業委員会事務局北事務所長、地域総務課長補佐2人、地域総務課職員3人、豊栄地区公民館職員1人

〔新潟医療福祉大学関係〕

社会連携推進部長、社会連携推進課長

計16人

傍聴者 2人

1 開会

坪木会長

今年度最後の会議でございますが、第10期の委員は来年も継続して

それでは、議事に入らせていただきます。

2 議事事項

(1) 令和7年度自治協議会提案事業 事業評価書（案）について

坪木会長

まず、議事事項1「令和7年度自治協議会提案事業の事業評価書案について」、各部長から説明をお願いしたいと思います。

地域づくり部会、よろしく申し上げます。

佐藤（茂）委員

地域づくり部会です。

今回、2年かけて取り組むもののうち、今年度の実施は資料のとおりでございます。地域づくり部会として所管しているもののうち、特に今回に関して言うと農業を主眼に置き、あわせて区内の大学との連携というものを考えながら、事業の準備を進めてまいったところでございます。

その中で、最初に新潟食料農業大学の胎内キャンパスの方に見学に行きまして、そこで現地の学長をはじめ、皆様と情報共有、それから自治協議会と大学のそれぞれの立ち位置の確認、考え方の共有、共同して何かできるかというところを模索してまいりました。

その結果として、今資料にまとめているとおりでございます。

来年度、これまで取り組んできたものを形に残しておくところから、整理を行いながら、中身の具体的なものを明確にして、今後取り組んでいくということで、この1年間は準備の年として充てさせていただきました。

以上でございます。

佐久間委員

福祉教育部会です。

子育て、教育、医療、保険、福祉全般に関する分野を所管する部会でございますが、今年度は地域における子ども子育て支援事業を調査研究のテーマに設定して、調査研究を行ってきました。

愛着形成やアタッチメントの重要性など、吉田課長からお話を聞いたり、東区の方に見学に行ったり、大学の先生の講演を受けたりで、学びを深めました。

子ども子育てに関する調査研究を通して、委員一人一人が意見を持って、本当に活発な議論を行うことができました。

次年度は、いろいろと話を聞いてきた中で、今の子育ての環境やお母さんたちの思いについて、北区に住む人たちはどう思っているのか、地域に住む子どもやその保護者をどう思っているのかを知りたいというところで、アンケートを取ろうという話になり、今後話し合いを重ねていく予定です。

子どもに代わることや親に代わることはできないけれども、地域住民としてできることをやっていきたいというところで、次の事業実施に向けて、また話し合いを重ねていきたいと思っています。

以上です。

倉島委員
自然文化部会です。

今年度は区内の各所を現地視察してまいりました。

来年度に関しては、水辺環境の活用と魅力発信をテーマに設定しまして、イベントを開催しようということにしています。

委員全員で講習会を受けるなど、イベントに向けて準備を進めているところなので、イベントの開催を通じて区民の皆さんと一緒に取り組んでいけたらいいかなと考えています。

以上です。

坪木会長
ただいま各部会から説明がありましたけれども、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(意見なし)

それでは、事業評価書のとおりとすることでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。それではそのように決定いたします。

3 報告事項（1）新潟医療福祉大学社会連携活動報告

坪木会長

続きまして、報告事項（1）新潟医療福祉大学社会連携活動報告についてです。

本日は新潟医療福祉大学様より報告に来ていただいております。それではよろしくお願いいいたします。

新潟医療福祉大学社会連携推進部長

皆さん、改めましてこんにちは。

日頃から大変お世話になっております。

また、本日はこのような協議会の貴重な時間の中でご説明の時間をいただきまして、本当にありがとうございます。

日頃から本学の学生及び教職員が北区の皆様方に大変親切に丁寧にご指導いただきましたことを改めて御礼申し上げたいと思います。

本日は、本学が社会連携の中で行っている内容についての概略、少しお話をさせていただいて、先日皆様方にご依頼させていただいておりますアンケートの中身についても少し触れたいと思います。

あと、本学の学生がボランティア活動ということで活動している内容についても少し触れさせていただいてご報告をしたいと思っております。

それでは改めましてよろしくお願いいいたします。

新潟医療福祉大学社会連携推進課長

日頃から大変お世話になっております。

2月の際には、区内アンケートのご依頼に対しまして、多くの回答をいただきまして、誠にありがとうございました。

本来であれば、昨年は大学の方に皆さんお招きして大学の説明会等を実施いたしたのですけれども、本年は学内の事情で準備が間に合わず、アンケートという形を取らせていただきました。

アンケート結果について、こちら北区自治協議会会議資料という3枚綴りの資料をご用意いたしましたので、そちらご確認いただければと思うのですけれども、主な回答を抜粋してまいりました。

実際の文章ではなく、分かりやすくした形で整理しております。

活動のPR、せっかく活動しているのに地域の方に伝わっていないのではないかといったご意見や、北区の地場産業を生かした取組、商品開発であるとか、そういったことをしてほしいといったご意見をいただいております。

私の受け止めとしては、大学と地域がより緊密に連携して、何かを発信していきたい、開発していきたいという強いお気持ちをいただいたと考えております。

大学としても、教員や学生と連携して地域課題に対してアプローチしていきたいと受け止めております。

続きまして、社会連携活動についてでございますが、こちらに抜粋したものは、大学が自治体と連携協定を結んで実施している事業の一部になります。

北区と大学の連携事業、未来のまちづくり事業につきましては、2025年は3つのテーマを設けて活動いたしました。

参加していただいた方からも継続を望む声など、おおむね好評をいただいているところでございます。

そのほか、他市での検診事業等も実施しておりますが、大学の研究活動によって得た成果を地域に還元していく活動となっております。

続きまして、ボランティア活動についてでございます。

資料に記載のとおり、2025年度は2月末時点で延べ2,674名、2024年度は通年で2,306名の学生がボランティア活動に参加しております。

年々活動している学生数は増えている状況でございます。

この活動を支えているのが、大学のボランティアネットワークシステムでございます。ボランティアを募集する側と参加したい学生をマッチングする仕組みとなっております。

具体的に学生と何か取り組みたい場合は、大学のボランティアセンターにご連絡いただき、募集登録を行っていただくことで学内に周知し、学生を募ることが可能でございます。

学生と何かしたいが内容が決まっていない場合でも、ご相談いただければ対応可能でございます。

それでは、アンケートには書かなかったけれども、意見がある方がいらっしゃいましたら、この場でお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

佐藤（茂）委員

社会福祉協議会から参加しております佐藤です。

地域のイベントに関わっておりまして、大学の学生の皆さんにはいろいろな場面でご協力いただき、大変助かっております。ありがとうございます。

これまでの関わりとしては、イベント当日の運営のお手伝いを中心だと思っておりますが、準備段階から長期的に関わっていただくことは可能なのでしょうか。

主催者側として、どの程度お願いしてよいのか迷う部分がありますので、その点について教えていただければと思います。

新潟医療福祉大学社会連携推進部長

貴重なご意見ありがとうございます。

企画段階からの関わりについても、これまでも事例がございます。

ボランティアネットワークの中で、期間や内容を明記して募集していただくことで、学生とのマッチングが可能でございます。

ただし、学生は授業等もございますので、継続的な参加が難しい場合や、当日参加できなくなる場合もございますので、その点はご了承いただければと思います。

坪木会長

ほかにご意見はございますでしょうか。

(意見なし)

それではありがとうございました。

(2) 部会の会議概要

坪木会長

それでは次に移ります。報告事項(2)部会の会議概要について、各部会から報告をお願いいたします。

佐藤(茂)委員

地域づくり部会です。

ご報告ということで、先月の部会、あるいは1月から部会を2回にわたりまして、先ほどの報告の中でも申し上げましたが、NPO法人の方からファシリテーターにお越しいただきまして、これまでにでてきた非常に多くの意見を整理する場を設けていただきました。

その中で決定しましたのが、会議概要の裏面に記載の決定事項でございます。

北区の農業という意味で食材を使った献立やメニュー、こういったものを大学と一緒に考案して、まず開発をすることといたしました。

出来上がったメニューについては、区内の地域のイベントで提供する機会を作ること、あわせてその取組については、区だよりをはじめ様々な手段で積極的に発信していくということで、大筋の動きとして決定いたしました。

本日のこの後の部会の中では、何を作るのかという部分と、それをどこでどのような形で発信していくのかというところに絞って、いくつかの案を出して整理し、大学にも共有していきたいと考えております。

来月から始まる後半1年間の活動の柱として進めてまいります。

以上でございます。

佐久間委員
福祉教育部会です。

地域における子ども子育て支援をテーマに設定しております。
これまでの部会での取組や事前アンケートの結果を踏まえまして、実施する取組について検討を進めてまいりました。

1月の部会では、意見出しを行い、整理を行いました。
テーマは地域における子ども子育て支援で、目的は地域で子どもを育てていくこと、地域が子どもの健やかな育ちや子育て世帯を支える存在となることです。

現在の社会の変化を踏まえ、まずは現状を知るためにアンケートを実施し、その結果をリーフレットとしてまとめて発信することといたしました。

2月の部会では、アンケートの内容について検討を行い、自治協議会としてできることを把握すること、リーフレットを通じて地域での取組の意識を高めることを目的として整理いたしました。

今後は早い段階でアンケートを作成し、イベント等で多くの方から回答を集めていきたいと考えております。

以上です。

倉島委員
自然文化部会です。

来年度に向けてイベントを成功させることを目的に検討を進めております。

開催時期は10月を想定しております。

開催場所については複数案があり、今後の部会で決定していく予定です。

以上です。

坪木会長

ただいま各部会から報告がありましたが、ご質問、ご意見はございますでしょうか。

(意見、質問なし)

それでは、計画に従いまして次年度の活動を進めていただきたいと思います。

4 その他

坪木会長

それでは次に、その他に移ります。

事務局からお願いいたします。

事務局

北区地域総務課から報告がございます。

旧笹山小学校の土地および建物の売却について、一般競争入札が実施され、その結果、県外企業が落札しました。

本入札は、本庁の財産活用課により実施されたものです。

以上でございます。

坪木会長

ご質問はございますでしょうか。

(質問なし)

坪木会長

その次、事務局お願いいたします。

北区教育支援センター

北区教育支援センターでございます。

お手元に配布しております令和7年度教育ミーティング質問回答一覧をご覧ください。

1月の自治協議会においてクラブ活動に関する説明を行い、その際に委員の皆様からいただいたご質問について回答をまとめたものになります。

ご確認をお願いいたします。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

坪木会長

その次、事務局お願いいたします。

豊栄地区公民館

豊栄地区公民館でございます。

事業のPRをさせていただきます。

1点目は、北区健康福祉課との連携講座、赤ちゃんを迎えるための心の準備講座でございます。現在参加者を募集しております。

5月10日開催で、これから親になる方を対象に、知っておいていただきたい内容を学ぶ講座です。

2点目は、第20回北区市民茶会でございます。4月12日開催となります。

体験席もあり、子どもから大人まで参加可能となっております。

ぜひご参加ください。

坪木会長

その次、事務局お願いいたします。

事務局

自治協議会委員全体研修会についてご案内いたします。

令和8年5月15日、黒崎市民会館にて開催予定です。

移動手段としてバスの手配を予定しておりますので、出欠につきましては、出欠確認表または二次元コードからご回答をお願いいたします。

坪木会長

全体研修会につきましては、積極的な参加をお願いいたします。

坪木会長

その他、委員の皆様からございますでしょうか。

(特になし)

坪木会長

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。

お疲れさまでした。